



イメージキャラクター「くりりん」

かしこく なかよく げんきよく

葛葉だより

https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/kuzumaki/
E-mail mitsuke.kuzumaki-es@edu-niigata.ed.jp



令和8年2月20日(金)
見附市立葛巻小学校だより

Tel 0258-62-0689
Fax 0258-63-5017
No.381



6送会を話し合う代表委員会



4年生 自衛隊員を講師に防災スクール

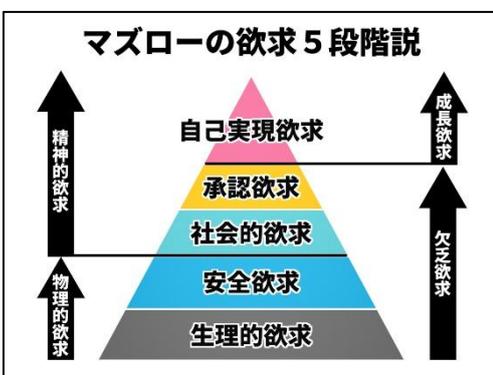


ゴール目ざしてラストスパート

校長 白井 敦

長く厳しかった今年の雪の季節もようやく終わりが見え、日差しに力強さを感じる季節となりました。グラウンドにはまだまだ雪が残っていますが、間もなく黒々とした地面が顔をのぞかせてくれるだろうと心待ちにしています。

学校では、一部でインフルエンザによる学級閉鎖がありましたがおおむね順調に教育活動を進められています。令和7年度も残り4週間となりました。それぞれの学年のゴール目ざして、力強く前進していきたいと思っています。実際2月を迎え、学年の終わりを見据えた動きが活発になってきています。5年生が中心となって「6年生を送る会」の提案・準備をしたり、1年生が4月から入学する1年生との交流会を行ったりしています。この時期の活動の特徴は、自分の気持ちを伝えたい他者がいて、その相手に喜んでほしいという子どもたちの思いがとても強く現われることです。承認欲求が爆上がりするのです。ならば満たしてやらなければいけませんね。



2年前の2月のお便りでも紹介しましたが、人間の欲求を分かりやすくまとめたものに「マズローの欲求5段階説」があります。人間の欲求を5段階のピラミッドで表し、下位の欲求が満たされると次の段階の欲求が発生するのが人の心理だという理論です。下から「生理的欲求」「安全欲求」「社会的欲求」「承認欲求」と積み上がり、最後に「自己実現欲求」がきます。「承認欲求」は3つの心の欲求のうち真ん中に位置するもので、「足りてないから満たしたい」と感じる最上位の気持ちです。子どもたちの気持ちはここまで高まっているのです。

ではどうしたら子どもたちの気持ちを満足させられるのでしょうか。一番大きなものは「結果」です。相手が喜んでくれた、笑ってくれたなど思っていた結果が得られたら子どもたちは大いに満足します。次にカギを握っているのは周囲の人々からの賞賛です。友達や先生方、おうちの人からの賞賛は、子どもたちにとって「他者評価」にあたります。周りの人々からも「うまいね」「よかったよ」などと認められることで、子どもたちの「承認欲求」をさらに満たすことができます。大人の声掛けも大切なのです。

この時期はおそらく一段と子どもたちが学校の様子や自分の頑張りを話すことが多くなると思います。認めてほしいからです。みんなで少し時間を割いて、子どもたちの話に耳を傾けてみましょう。きっと子どもたちの表情が明るくなるはずです。